

平成 27 年度第 1 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録

開催日	平成27年4月30日(木)	時間	13時45分 ～14時15分	場所	市立伊丹病院 くすのき講堂
出席者	<p>委員： 竹中委員(伊丹市医師会会長)、木村委員(三田市医師会会長)、黒田委員(尼崎市医師会会長) 森田委員(伊丹市歯科医師会会長)、長江委員(兵庫県伊丹健康福祉事務所長)、柳田委員(伊丹市消防局長)、坂本委員(伊丹市健康福祉部長)、川窪委員(宝塚市健康福祉部長)、岩越委員(三田市健康福祉部長)、中田委員(伊丹市病院事業管理者)、平塚委員(市立伊丹病院長)、関委員(市立伊丹病院副院長)、大迫委員(市立伊丹病院看護部長)、米倉委員(市立伊丹病院事務局長)</p> <p>委任状： 末岡委員(宝塚市医師会会長)、竹本委員(川西市医師会会長)、根津委員(川西市健康福祉部長)、岡野委員(学識経験者) 欠席： 安達委員(伊丹市薬剤師会会長)</p> <p>オブザーバー： 筒井(市立伊丹病院副院長)、三木(小児科主任部長)、萩原(放射線科主任部長) 太田(歯科口腔外科主任部長)、清田(医療技術部放射線担当技師長)、五十嵐(薬剤科長)</p>				
議題内容	<p>■ 開会のごあいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会が地方自治法の規定に基づき条例で設置すべきものとなった。詳細は後ほど報告。 ・医師確保については、今年度も順調に増加し112名。初期研修医1年目は6名歯科医師1名フルマッチにて4月より研修を受けている。 ・伊丹市、宝塚市、大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学教室の協議により当院と宝塚市立病院産婦人科が連携し同産科学婦人科学教室が協力することで両市域の産婦人科医療を確保する方針が固まった。この4月より5名の常勤医で再開。 ・地域医療構想の策定について圏域の検討委員会等に各市民病院から代表を委員に加えていただき地域における医療および介護の総合的確保に向け皆様と邁進したく考えている。 <p>■ 委員紹介</p> <p>席次順に紹介 出席者過半数を超えているので本会は成立することを報告。</p> <p>■ 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市立伊丹病院地域医療支援委員会の条例上の設置について」 <p>伊丹市は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、行政の執行のため、外部委員が含まれている調停・審査・審議・調査を行うような審議会等に対し、条例にて設置すべきものとして、昨年度、「伊丹市病院事業の設置等に関する条例」を改定し、「市立伊丹病院地域医療支援委員会」を管理者の附属機関として設置。</p> <p>「伊丹市病院事業の設置等に関する条例」にて所轄事項、委員の定数、委員の構成、委員の任期について定めている。</p> <p>平成27年4月1日付けにて委員の就任。任期は2年。</p> <p><主な改正点></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「委員会規定」の第2条第2項の委員長および副委員長は互選によりこれを定める。 ○議事録署名人を毎回の会議開催時に、委員長が2名指名。 ○「公開等および傍聴についての要綱」第2条ならびに第3条により、委員会の会議は傍聴による公開。 				

○ 第15条、会議録は、委員長が作成。

議事録署名人にて署名。

会議録の記載内容

- 1.開催の日時および場所
- 2.出席した委員、臨時委員、専門医委員および関係人の氏名
- 3.議題およびその内容
- 4.議題の要旨
- 5.議決事項
- 6.その他委員長が必要と認める事項

討議の中での発言内容、発言者の氏名は記載無し。

○ 第18条 会議録は市立伊丹病院ホームページにて公開。

■ 委員長および副委員長の互選について

・長江委員より推薦あり 委員長に竹中委員、副委員長に森田委員を推薦。
全出席委員より異議なし賛成とのことで決定。

■ 議事署名人の指名について(2名)

・竹中委員長より指名 長江委員、柳田委員に依頼したいとのこと。
両者共に了承。

■ 議事

1) 紹介患者に対する医療提供について

資料 1-① 1-② 1-③ 1-④ に従って説明

- ・資料 1-① 紹介率、逆紹介率ともに地域医療支援病院の要件を満たしている。
- ・資料 1-② 紹介患者数は昨年度とほぼ同様。

マンモグラフィ検査がやや減少

- ・減少した理由は→国のがん検診推進事業が 5 年経過し、無料クーポン配布対象数が少なかったため減少したと思われる。

- ・資料 1-④ 地域医療連携室利用割合

- ・この表には再診の方は入っているのか→含まれている。
- ・全体から見た市ごとの割合、利用率(%)を統計の横に入れてほしい。

→次回からご提案通りにし、今回に関しては議事録に添付する形で補いたい。

2) 救急医療の提供について

資料 2 について説明

- ・循環器内科への救急搬送が少ない理由は→医師数が少ないため、平日の時間内のみ救急対応と限りがある。近隣の専門病院と連携し対応している。
- ・脳神経外科への救急搬送も同じ理由か→同様の理由である。

3) 地域の医療従事者に対する研修について

資料 3 について説明

・研修の案内は登録医だけか。登録医以外への案内についてはどうか。

→基本的には登録医が主であるが、内容により介護保険サービス事業所へも案内している。登録医以外への案内については検討したい。

4) 開放病床の運用実績について

資料 4 について説明

・前年度と比較して利用率は低下したが、算定要件の利用率 2 割を超えているので問題はない。

補足として 「市立伊丹病院地域医療連携登録医および開放病床運営に関わる要綱」について内容を一部変更したことを報告。

第 2 条 3 地域医療連携登録医の資格・資格の喪失・退会の項目であるが、病院長が地域医療連携登録医として不適格と判断した場合「地域医療支援委員会」の意見を聴き登録を取り消しできるとなっていたが、外部の先生方がおられる、この場で登録医実名をあげて検討するのは相応しくないと判断し、院内 33 名の職員で構成される「地域医療推進委員会」の意見を聴き登録を取り消しできると改定した。

■ その他

・むこねっこの利用状況について

→ 平成 26 年 10 月 1 日から運用開始。各医療機関数は今日現在で

	平成 26 年度	平成 27 年度
パターン A	12	5
パターン B	8	3
パターン C	3	1

であり、患者数は平成 26 年度が 83 例、平成 27 年度が 21 例。問題なく運用できている。


■ 閉会のごあいさつ

無事終了した。市立伊丹病院におかれては今後も地域医療に貢献されることを願う。

■ 謝辞

前回の支援委員会では、産婦人科について詳細をご説明できなかったが、この 4 月から宝塚市立病院と共同でスタートすることができた。1 年で再開出来てほっとしている。5 月連休明けから手術を、11 月頃から分娩を開始予定である。先日、伊丹市内で開業されている産婦人科に訪問し、先生方にご挨拶させていただいた。新しく立ち上げたところなので、ゆっくりのスタートとなるがよろしく願いたい。

別紙のとおり「平成 27 年度第 1 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として作成する。

作成者 平成 27 年 5 月 7 日 竹中香天 

別紙のとおり「平成 27 年度第 1 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として確認する。

議事録署名人 平成 27 年 5 月 22 日 長江利幸 

議事録署名人 平成 27 年 5 月 25 日 柳田 尊正 